

世界一大きな絵 EXPO2025 制作及び 完成披露式について

教育部四ツ葉学園中等教育学校

「世界一大きな絵」とは、世界中の子供たちが描いた絵（5m×5m）を繋ぎ合わせ、一枚の「世界一大きな絵」を作るプロジェクトです。

完成した絵はEXPO2025大阪・関西万博のフェスティバルステーション（予定）において展示されます

1 趣旨・概要

「世界一大きな絵」プロジェクトは、世界の子どもたちが国や宗教・人種を越えて真の平和を愛する気持ちを育むとともに、世界的な視野を育み、この美しい地球の平和と環境を守る機運を世界中に広げることを目的としています。実施団体であるNPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクトから「2024」に引き続き、「EXPO2025」も伊勢崎市に協力いただきたい旨のお話がありましたので、伊勢崎市の目指す共生社会の実現に沿うものであることから、再度、四ツ葉学園中等教育学校を中心に制作する運びとなりました。

今回は「いのち」をテーマに伊勢崎市の「世界一大きな絵」を完成させます。

2 制作

伊勢崎市内の小学校及び群馬県立伊勢崎特別支援学校の児童182名と四ツ葉学園中等教育学校の生徒会、美術部が力を合わせ、制作します。

(1) 日時 令和7年3月8日（土） 午前のグループ 午前9時～午前11時30分

午後のグループ 午後1時～午後3時30分

(2) 場所 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

（上植木本町1702番地1 TEL21-4151）

3 完成披露式

(1) 日時 令和7年3月28日（金）午後3時～

(2) 場所 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

※NPO法人の目的及び代表理事 河原裕子氏のプロフィールは別紙参照

問い合わせ先 教育部四ツ葉学園中等教育学校 町田 TEL0270-21-4151

■NPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクト

広く一般市民を対象として、文化交流による平和推進事業、世界各地の青少年の絵を繋げて世界一大きな絵を制作する事業、高齢者問題の解決に貢献するための事業、また、地域の防災力を向上させるための仕組み等の開発や、セミナー・シンポジウムの開催等による防災知識の普及・啓発事業等を行い、福祉の向上や防災意識の向上を図ることで、人々の幸せと平和の確立に市民レベルで寄与することを目的としている。

特定非営利活動法人アース・アイデンティティー・プロジェクト

〒144-0031 東京都大田区東蒲田 1-21-14 ラビコート3F

T E L : 03-6715-7888 F A X : 03-6715-7877

U R L : www.bpw2024.com

■代表理事 河原裕子氏プロフィール

1991 年 任意団体「雲母の海（K I R A R A N O K A I）」を設立

1992 年 「雲母の海」がバングラデシュ人民共和国総理府NGO局に外国NGOとして認可される

同年 バングラデシュの最貧地区において「バングラデシュ・クリGRAM県の貧困な人々の生活と、人間的尊厳向上のための開発計画」に着手、女性の自立支援のためのプロジェクトを開始

1996 年 自立支援をした女性の子供たち総勢 13,000 人に 1m×10mの布 1,000 枚に絵を描いてもらい、子供たちの母親 1,000 人で縫い合わせ、100m四方の絵を完成させる

1999 年 名称をNPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクトに改称し、日本国内、海外を精力的に回り「世界一大きな絵プロジェクト」を本格的に開始

2010 年 在日各国大使館へ働きかけ、「世界一大きな絵大使館版」「在日大使館の御協力による海外の子ども達への取り組み」をスタート

日本国内でも「世界一大きな絵 2012 都道府県版」等を進め現在に至る